

特 記 仕 様 書

1 準備地柵業務

- (1) 地柵は、全面刈・巻落・筋置とする。筋置の幅は、下表のとおりとする。

なお、現地条件等により、これによりがたい場合は、協議の上、事業区域外への搬出・集積等を行うものとする。

番号	施業場所	林小班	筋置の幅
1	矢作町字雪沢 104-1	227-15-2 外	おおむね 1.6m 以内

- (2) 刈高は、おおむね 5 cm 以下とする。
- (3) 末木枝条等の置巾は、調査職員の指示によること。

2 踏査、測量等

- (1) 周囲測量等に先立ち、森林資源管理図等に基づき現地を踏査し確認する。また、境界線が不明瞭な箇所は、調査職員に報告し指示を受けること。
- (2) 測量杭は、杭頭を赤色に塗装し、測点番号を記入すること。
なお、施行地の境界保全のため、測量起点杭は耐久性のある杭（プラスチック杭等）を用いること。
- (3) 周囲測量は準備地柵業務開始前に行うものとし、完了後、速やかに測量野帳、測量計算書及び施業図（2,500 分の 1）を成果品として電子データ等市の指定する媒体により提出すること。
- (4) 閉合誤差は 100 分の 1 以内とすること。

3 写真の管理

- (1) 施業箇所毎に作業前、作業中、作業後の状況写真を撮影し整理すること。
- (2) 撮影箇所数は、1.0ha につき 2 箇所程度とすること。
- (3) 施業箇所毎に撮影箇所の GPS 情報を記録すること。

4 各作業とも、人身事故等の防止には万全を期すこと。

5 周辺山林、河川、林道等に影響のないよう、作業現場の後始末をよく行うこと。

6 ツチクラゲの発生を防止するため、林内では原則火気を使用しないこと。

7 流水、落石等による災害の誘引原因となるようなことのないように注意すること。

8 ビニール、空き缶等は持ち帰るなどして、山にゴミを捨てないこと。

9 受注者は、下請負に付する場合には、次に掲げる要件をすべて満たさなければならない。

- (1) 受注者は下請負者に本事業の全部または主たる部分を一括して請け負わせてはならない。
なお、あらかじめ発注者に協議し、書面による承認を得た場合はその限りではない
- (2) 下請負者は、当該下請事業の施工能力を有すること。